

施策番号	1002		
施策名	環境や社会に貢献できる農林業の育成		
概要	資源循環型産業として環境や社会に貢献するとともに、観光資源につながる農林業・農山村の魅力創出を図るなど、農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりを進める。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	間伐面積(スギやヒノキの人工林における間伐面積)(ha/年)	a	b	611	745	814	91.5%	a	1.00
2	「京の旬野菜」供給量(t)	a	a	10,546	10,591	10,512	100.8%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言う とそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言う とそう思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	c	c	21 5.3%	114 28.5%	196 49.0%	51 12.8%	18 4.5%	400
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		C	C	市民生活実感調査総合評価					C

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					28年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 環境に負荷をかけない栽培を増やすための取組や森林の整備等は、市民生活において実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・農林業による環境への負荷を抑制する効果が、市民生活において実感しにくい面があるため、c評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	農業・農村多面的機能強化事業（中山間地域等直接支払制度分）	40,318	52,814	かなり良い	産業観光局
2	家畜衛生防疫	2,806	3,044	良い	産業観光局
3	農業基盤整備事業	111,059	115,242	良い	産業観光局
4	京の川の恵みを活かす事業	2,645	2,645	かなり良い	産業観光局
5	山村都市交流の森運営管理	37,699	34,309	かなり良い	産業観光局
6	森の力活性・利用対策	78,300	77,441	良い	産業観光局
7	木質ペレット需要拡大事業	9,825	11,175	悪い	産業観光局
8	森林病虫害被害防止対策事業	22,587	21,402	良い	産業観光局
9	伏水・蔵まち構想の推進	6,181	4,155	良い	産業観光局
10	市内産木材総合需要拡大事業	24,295	50,700	良い	産業観光局
11	災害に強い森づくりの推進～京都市内産木材搬出支援～	17,705	19,202	良い	産業観光局
12	京都らしい森づくりの推進～京都三山の森再生～	15,715	15,293	良い	産業観光局
13	京都らしい森づくりの推進～古都の美林を守る森林支援事業～	13,967	16,064	良い	産業観光局
14	園芸振興	41,995	40,264	良い	産業観光局
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・水源涵養機能、二酸化炭素吸収源、環境負荷抑制効果など、農林業が持つ多面的機能を市民に伝えるとともに、農業用水路に治水機能を付加し、雨に強いまちづくりを推進する。
- ・地域特産物の育成を通じて、農山村の活性化や新たな収入源の確保につなげていく。
- ・食や景観といった、本市の魅力を支える産業としての農林業の重要性について、広く発信していく。
- ・近年の大型台風による集中豪雨やゲリラ豪雨等の増加に対して、適正な森林整備が、山林の災害を防ぐ効果があることを広く周知していく。

施策名	1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成										
指標名	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）											
担当課	林業振興課	連絡先	2 2 2－3 3 4 6									
1 指標の説明												
本市のスギやヒノキの人工林における間伐面積												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境保全等の公益的機能の確保状況を示す指標			出典：京都府林業統計									
4 数値												
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度						
数値	611	745	134ha/年増	814	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（535ha）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度1,000ha）から各年度の目標数値を等差的に算出	91.5%						
	全国順位	中長期目標			備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成27年度値が最新となる。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値		1,000	31年度	74.5%			京都市農林行政基本方針					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr><tr><td>a</td><td>b</td><td>a</td></tr></table>		27	28	29	a	b	a
27	28	29										
a	b	a										

指標名	「京の旬野菜」供給量（t）											
担当課	農業振興整備課	連絡先	2 2 2－3 3 5 2									
1 指標の説明												
京の旬野菜認定生産者による、フードマイレージの低い農産物の生産量（フードマイレージ：食料の重量と輸送距離を掛けて得られる指標）												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境負荷の抑制状況を表す指標			事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度						
数値	10,546	10,591	45t増	10,512	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（9,657 t）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度11,000 t）から各年度の目標数値を等差的に算出	100.8%						
	全国順位	中長期目標			備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成27年度値が最新となる。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値		11,000	31年度	96.3%			京都市農林行政基本方針					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、農業者の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr><tr><td>a</td><td>a</td><td>a</td></tr></table>		27	28	29	a	a	a
27	28	29										
a	a	a										